

インドメタシン^が

痛みの元に浸透!

メタシンパSL 第2類医薬品

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

- 次の人は使用しないこと
 - (1) 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (2) ぜんそくを起こしたことがある人
 - (3) 11歳未満の小児
- 次の部位には使用しないこと
 - (1) 目の周囲、粘膜等
 - (2) 湿疹、かぶれ、傷口
 - (3) みずむし・たむし等、または化粧している患部
- 長期連用しないこと



相談すること

- 次の人は使用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談すること
 - (1) 医師の治療を受けている人
 - (2) 妊婦または妊娠していると思われる人
 - (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
- 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ、ヒリヒリ感、熱感、乾燥感

- 3.5～6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

外用消炎鎮痛剤

ローションタイプ

インドメタシン

痛みに 1% 配合



肩の痛み
腰痛
関節痛に

※肩こりに伴う

患部に浸透
のびがよく、ベタつかない

メタシンパSL

第2類医薬品

100mL

容器を立てて
保管してください。

使用前にこの説明文書を必ずお読みください。また必要な時に読めるよう大切に保管してください。

保管および取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり、品質が変わる)。
- (4) 火気に近づけないこと。
- (5) 金属類、化繊の衣類、プラスチック類、メガネ、床や家具などの塗装面等に液が付着すると変質させることがあるので、付着しないように注意すること。
- (6) 使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。
- (7) 本剤のついた手で、目など粘膜に触れないこと。
- (8) 本剤が衣類や寝具などに付着し、汚れた場合にはなるべく早く水が洗剤で洗い落とすこと。

製造販売元

株式会社タカミツ

名古屋市北区上飯田東町4-68-1

お問い合わせ先

☎0120-459533

受付時間 9:00～12:00、

13:00～17:00 土・日・祝日を除く

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独) 医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/>
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)



4 987487 104246

開け口

第2類医薬品

販売名：メタシンパSL

【特徴】

インドメタシンを1.0%配合した、局所吸収薬です。
インドメタシンが痛みの元に素早く浸透し、つらい痛みにも効果的です。
首の部分が曲がっているボトルで、塗りにくかった患部へも上手に塗布できます。

【効能・効果】

腰痛、関節痛、打撲、捻挫、筋肉痛、腱鞘炎(手・手首の痛み)、肘の痛み(テニス肘など)、肩こりに伴う肩の痛み

【用法・用量】

1日4回を限度として、適量を患部に塗布する。

【用法・用量に関連する注意事項】

- (1) 目に入らないよう注意すること。万一目に入った場合には、すぐに水またはぬるま湯で洗い、症状の重い場合には眼科医の診療を受けること。
- (2) 11歳以上の小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させること。
- (3) 外用のみに使用し内服しないこと。
- (4) 塗布部位をラップフィルムなどの通気性の悪いもので覆わないこと。
- (5) 1週間あたり50mLを超えて使用しないこと。
- (6) 皮ふの特に弱い方は、同じ所に続けて塗布しないこと。
- (7) 同じ部位に他の外用剤との併用は避けること。

【成分・分量】(100g中)

インドメタシン 1000mg
メントール 3000mg
添加物として、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、水酸化Na、トコフェロール酢酸エステル、ジブチルヒドロキシルエー、ビタミンC、クエン酸Na、イソプロパノール、クロタミトン、アジピン酸ジイソプロピル、香料を含有する。



製造番号 使用期限

2301-AHI